

第 18 回運営推進会議 議事録

令和 7 年 3 月 21 日

No.1

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」
開催日時	令和7年3月21日 14:00~15:00
開催場所	デイサービスセンター「すみよし」併設施設サービス付高齢者向け住宅「グットハウスすみよし」食堂
参加者	利用者 1名 知見を有する者 1名 利用者家族 1名 地域包括支援センター 1名 地域住民の代表 1名
議題	1 運営推進会議の目的 2 運営状況 3 主な活動 4 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染症の拡大防止に対する取り組み 5 事故報告 6 BCP(事業継続計画)策定への準備の実施 7 質疑応答

会 議 録

1.運営推進会議の目的

地域に開かれたサービスや、介護保険サービスの質の確保を図ることを目的とし、半年に一度ご利用者様やそのご家族、地域住民の代表者などに、提供している介護サービスの内容をご説明いたします。出席者の皆様にはサービスの内容の報告に対してご意見を頂いたり、事業所に対するご要望や助言等忌憚のないご意見を頂戴したいと存じます。

2.運営状況

(1) 利用定員 午前・午後 各 13 名

1 日平均利用者人数 午前 5 名 午後 6 名 (2 月 28 日現在)

(2) 提供時間 3 時間 5 分 (午前 9:10~12:15 午後 13:10~16:15)

(半日型・機能訓練特化型・入浴、昼食対応可能)

(3) 利用者の状況 令和 7 年 2 月 28 日現在

利用者人数 32 名 (男性 14 名 女性 18 名) 利用休み中 2 名

事業対象者	要支援 1	要支援 2		平均介護度
0 名	0 名	0 名		2
要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
6 名	16 名	7 名	2 名	1 名

※今期は体調不良や受診によるお休み、転倒による骨折での入院や病気で入院、入所によるお休みや利用中止などが多数ありました。また、寒さから外出を控えたいとの理由でお休みされるご利用者様もいらっしゃいました。この冬はご逝去された方がいつも以上に多かった印象があります。結果として前期よりさらに少ない利用回数となりました。今期も寒さが厳しく、寒暖差も激しいことから体調を崩しやすかったと考察しました。

コロナが第5類の扱いとなっても、コロナ感染だけでなくインフルエンザ感染についても予断を許さない状況ではありますが、現在のところ、感染者は職員を含め数人にとどまり、感染が拡大することなく、クラスターは発生しておりません。とは言え、まだ感染は治まっておらず、周囲での感染の報告も受けております。事業所としては基本的な感染対策を引き続き実践し、安全環境作りを継続していきます。

- (4) 加算 個別機能訓練加算ⅠⅠ又はⅡ 入浴加算(希望者のみ) 口腔機能向上加算(希望者のみ)
中重度者ケア体制強化加算 処遇改善加算Ⅱ

3.主な活動

・機能訓練指導員による個別機能訓練、ご利用者様のレベルに合わせた脳トレの実施。

・口腔機能向上サービスの実施一月2回

(コマキ歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービス看護師による指導)

※口腔機能向上に関する情報提供、口腔体操、嚥下体操、歯磨き支援などの口腔ケアの実施。半年に一度、口腔機能検査を実施し、口腔機能低下症から向上が見られたご利用者様は卒業となり、その後半年に一度の検査により維持がされているか確認を行います。1月に実施した検査では、1名が卒業となりました。山梨県の指針でも、口腔内の清潔や機能の向上により、誤嚥性肺炎や心疾患、歯周病からくる認知症など、身体全体の健康に影響するとして推奨しています。今後も口腔機能向上に向けて活動を継続していきます。

・手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成

季節に合わせたお花や、節分の鬼の貼り絵、塗り絵、粘土工作など

・外出レク

感染防止を配慮しての外出レクリエーションの実施。

小瀬へ紅葉見物、住吉神社へ参拝、みかん狩り、不老園へ梅の花見物、市役所へ貼り絵を出品した展示会への見学など

・日常のレク活動について

カラオケや、皆さんで取り組めるゲームとしてトランプや神経衰弱、お金のゲーム、ジェンガ、脳トレを兼ねたレク活動ではホワイトボードを活用してクイズや連想ゲーム、とんち問題などを楽しんでいます。

また、体を動かす風船バレー、玉入れ、ボール体操、手作り棒体操、ペットボトル体操などを行っています

・イベント

11/21 山梨学院小学校合唱部による合唱、 12/23 クリスマス会マジックショー、 1/10 尺八演奏

※月別の予定表を作成し、外出やイベントなどの予定を分かりやすくしました。

※3つの事業所のデイサービスが一丸となつてのスローガンを掲げ、ご利用者様各々の能力を引き出し、けるような機能訓練やレク活動を目指しています。

「できる」を引き出す まだまだできる、自分の力を信じよう

・地域との交流「こども 110 番」の施設としての実施継続。

・避難訓練

R7 年 3 月 12 日 11:30～ 震度 6 地震発生、その後火災発生を想定した訓練を実施

4. 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染症の拡大防止に対する取り組み

- ・最近ではマスクの着用が緩和され、着用は個人の判断にて選択できるとされていますが、医療機関や高齢者施設においては重症化リスクが高い人の感染防止のため、着用を推奨するとの方針となっております。職員は引き続きマスク着用にて業務にあたっております。ご利用者様につきましても強制ではないものの、引き続き着用していただくよう、説明やお願いをしております。
- ・ご利用者様にはお迎え時、デイに到着時に検温をさせていただきます。
(37.5℃以上)が見られた場合には来所を控えていただきます。
- ・職員もご利用者様同様、毎日 2 回の検温、発熱が認められた場合には出勤停止とします。
- ・手洗い、うがいを徹底します。
- ・定期的な部屋の換気 (30 分に 1 回または 1 時間ごとに時間を決めて 5～10 分) を行います。
- ・エアドッグ(空気清浄機)を導入しています。
- ・室内の消毒をします。(椅子・テーブル・テーブルの淵・手すり・水回り・平行棒・ドアノブ他)
- ・送迎車の送迎前後の消毒をします。(ドア・ハンドル・手すり・シート等)
- ・職員は普段より栄養をしっかり摂り、十分な睡眠を心掛けます。

5. 事故報告 2 件

R6.10.18

【内容】 転倒…ご利用者様がデイサービスご利用後、ご自宅前に到着し送迎車から降車後、玄関に向かう際道路上の石に躓き、仰向けに転倒されました。

【対応】 運転手はその時点で確認したところ、痛みや外傷はないと判断したため、そのままデイに戻り管理者に報告しました。管理者がすぐご自宅に連絡を入れたところ、後頭部から出血があり、救急搬送することになったとのこと、ご本人から報告を受けたケアマネと情報確認をし、すぐに搬送先の病院に向かいました。検査の結果、頭部外傷のみということを確認し、ご家族様にお詫びし、結果をケアマネに報告しました。

【今後の対応】

デイサービスのご利用者に対し、玄関まで付き添いをするのが原則ですが、降車時に「ここで結構です」と言われたため、大丈夫であろうと付き添いを行わずに帰ろうとしたことが原因でした。

今後は断られても必ず玄関まで付き添うようにすること、改めて安全に送迎を行うよう職員間で情報共有し徹底していくようにしました。

R7.2.10

【内容】 転倒…左側に麻痺のあるご利用者様が来所時うがいと手洗いを行った後、方向転換をしようとした際バランスを崩し、後方に転倒され、臀部を打ってしまいました。

【対応】 側についていた報告者のご利用者様のケガの有無を確認し、数人の職員でご利用者を起こしました。

元々あった左股関節の痛みがあるものの、特に外傷や内出血も等なかったため様子をみることにしました。

その後担当ケアマネジャーに報告を行いました。

【今後の対応】

ご本人様の方向転換時足がもつれてしまったとのことでしたが、ご自宅でも方向転換時に転倒することがあるとお話があり、移動時には細心の注意をし、見守り介助を行うようにしていきます。

今回のように体重のあるご利用者様については、とっさに力のない職員では支えきれない場合があるので、できるだけ複数で対応したり、力のある職員が見守りや付き添いを行うようにしていきます。身体の状態に合わせ、必要に応じて車椅子対応を行う必要もあります。

※事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うとともに、発生したその日のうちに職員間でミーティングによる原因対策の話し合いを行い、再発防止に努めています。

6.BCP（事業継続計画）について

感染症や非常災害が発生した場合でもご利用者様への必要な介護サービスが継続的に実施できるよう、早期の業務再開を図るため業務継続計画等を策定し、必要な処置を講じます。業務継続計画を周知するとともに、研修及び訓練を定期的に実施します。定期的に業務計画の見直しや、必要に応じて変更します。

7.質疑応答

（ご利用者様）

こんなにいろいろやってくれていてとても良いなと思います。デイにはいつも良くしてもらっています。

（ご利用者様のご家族）

職場の負担にならないようにイベントなどをやっていってください。口腔機能向上サービスは父もやっているのでしょうか？やったほうがいいのでしょうか？

（管理者）

月に2度受けられるのですが、月・火のみなので月に1度（木）の利用日を変更してコマキ歯科の訪問日に合わせて（月）（火）のどちらかに振り替えしていただければ利用することができます。ご本人からのご希望がなかったのもまだ利用されていません。

（ケアマネ）

デイサービスで出かけることが楽しいそうです。お買い物に行くことも希望されていますが…

（管理者）

来月のレク活動として予定されています。

（ケアマネ）

よかった。うれしいです。必要であれば曜日を振り替えても良いので参加させてあげてください。

（自治会長）

大規模な災害についてどのようにお考えですか？南高に避難されますか？

（管理者より）

こちらでは半年に一度、地震や火災の避難訓練を実施しています。迅速に外に避難する訓練を行っています。水害については本部2階へ垂直避難を考えています。南高が避難所となっていますが足の悪い方もお

り、車が使えらる状況であれば南高へ避難しますが、そうでなければ移動が難しいと考えています。

(自治会長)

自治会でも高齢の方がいます。今後も目を配っていく必要があります。自治会としても市や包括センター、グットケアも地域の相談窓口として紹介していくつもりです。自治会長は4月から変わります。次期自治会長はまた正式に決まりましたらお知らせします。

(包括支援センター)

前期に比べ利用者が少ないように思います。サ高住の利用者は何名利用していますか？

(管理者)

5名です。

(包括支援センター)

合唱やボランティアはどのように企画しましたか？規模はどのくらいですか？どういうツテで呼んだのですか？

(管理者)

小学校の合唱は3つのデいの合同で行いました。以前いたデイサービスで山梨学院小学校をお呼びしたことがあり、学校側でも積極的に実施していきたいとの方針ということだったため、今回直接依頼をさせていただきました。他のボランティアについては社協のことぶき人材マスターからお願いしました。ボランティアに来ていただいた際は他のデイでコロナの感染が見られたため、規模を縮小し、すみよしとサ高住のみで行いました。

地域の住民の方もご招待したいと思いましたが感染防止のため見合わせました。

(包括支援センター)

すみよしは半日型の地域に開かれたデイとして活動してほしい。先日、他のデイサービスの運営会議に出てもらいましたが、活動はどのように感じましたか？今後すみよしはどのように地域とのつながりをもっていきますか？

(管理者)

他の推進会議に出席したのは初めてだったので勉強になりました。地域密着型のデイサービスは地域とのつながりが大切であると感じました。

今後は催し物などを行う際には自治会にも案内状などを、自治会長を通じて組長会で伝えてもらい、地域の方にも参加していただこうと思っています。

(包括支援センター)

デいの利用者様の中で携帯電話を持っていらっしゃる方は多いですか？

(管理者)

何人か持っていらっしゃる方がいます。

(包括支援センター)

ご自分で携帯を持っている方が消費者被害に遭うというケースがあります。利用者の方が屋根の修理の契約をしてしまったという事例があります。デいの利用中に契約の電話がかかってきた際にデいの職員が対応し電話の相手に「そのようなことはご家族と話してからにしてください」と伝えたところ、その後電話がかかってこなくなったそうです。

このようにデいの機能として相談や困りごとなどを聞くようにしていってほしいと思います。

(社長)

デイのやり方、内容の見直しを集中的にしています。利用者様がご自分でがんばれることを引き出していきたい。まだ始めてすぐなのでこれからもっと進めていきます。利用者様が元気にがんばれるようサポートをしていきたいと思っています。

次回 運営推進会議開催時期 令和7年9月頃予定